

「スリムJapan」発足でシンポ

# シニアエンジニアが 社会基盤整備で発信



シニアエンジニアの豊富な知識・経験を、今後の社会基盤ライフサイクルマネジメントに活用するNPO法人・社会基盤ライフサイクルマネジメ

ント研究会(スリムJapan)有岡正樹理事長が、5日(虎ノ門で開かれた設立記念シンポジウム)は、「社会基盤整備に関するコンプライアンス的視点」をテーマにシンポジウムを開催、「ムクナ公共事業」論が政壇(ばつこ)する中で、本質を見据えた社会資本整備の在り方を発信した。

急速に高齢化するわが国の社会基盤。財政悪化の中で、社会基盤の荒廃を防ぐ

ためにも、社会基盤施設ライフサイクルマネジメントを見据えた適切な対応が求められている。NPO法人は、こうした状況下、高度経済成長を支えた豊かな経験と知識を有する技術者の視点で、調査、研究開発、政策提言はじめ、技術・法

務・経営サポート活動などを行っていきこうというもの。技術、コンプライアンス、マネジメント、コミュニケーション、国際協力との5委員会を組織、立命館大学大学院MOT研究科客員教授の有岡氏を理事長に、正会員54人が登録、スタートし

た。有岡理事長は「シニアエンジニアリングが培ってきた技術を世に問い、伝えるとともに、多角的な視点で議論していく」とあいさつ、使命感ある「Re-エンジニアリング」の考え方で、持続可能な資源再生型社会での

貢献を呼びかけた。NHK時代に『コンクリート・クライシス』などを手がけた元NHK解説主幹で中部大学教授の齋藤宏保氏は講演で、「(混迷する世論に)組織防衛論でなく、なぜ公共事業が必要なのかという視点が欠けている。作

ることが自己目的化した社会でなく、活用するための視点、何のための仕事を問うべき。維持管理には専門性が求められる、本当に必要な社会資本整備を専門的視点から精査すべき」とスリムJapanに期待を寄せた。

建通新報

## 企業・団体トピックス

### イベント情報

■NPO法人「社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会」設立記念シンポジウム  
11月5日/NPO法人「社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会」準備会事務局

「社会基盤整備に関するコンプライアンス的視点」をテーマにシンポジウムを開催。午後1時開始、会場はTKP虎ノ門ビジネスセンター。定員は150人。参加費はシンポジウム3000円、懇親会は5000円。申し込みなど問い合わせは事務局(森技術事務所) 電話03(3266)8588